

地域の宝を地域の力に ～ 住吉台中学校 ～

仙台市立住吉台中学校は、市北西部に位置する団地にあり、小中連携活動が盛んに行われています。地域で行われる様々な行事で、中学生は小学生の手本や支えになっており、小学生にとって中学生は憧れの存在です。地域の方々もそんな微笑ましい光景を温かく支えています。中学生と地域の方々が小学生をサポートする活動について取材しました。

6月中旬に行われた住吉台小学校の体力・運動能力調査では、多くの中学生と地域の方がボランティアとして参加し、記録測定やレクチャーなど、様々な場面で小学生の手助けを行っていました。

シャトルランでは、中学生が小学生の隣で伴走し、最後まで一緒に走ってくれていたことで、小学生は力を出しきることができたようです。また、地域の方の応援も、真剣に取り組むための力になっているように感じました。

小学生のために頑張る中学生の姿を見た地域の方からは、「中学生の立派な姿が小学生のその先にある。つながりを感じた」、「しっかり面倒を見ていた中学生の姿が印象的で、来年もぜひお手伝いしたい」などの声が寄せられていました。



シャトルランで小学生と伴走する中学生（右）



地域の方も積極的に協力してくれています



反復横跳びの手本を見せる中学生のみなさん



握力測定でも優しく声をかけながら正確に記録測定

中学生たちは、「小学生の力になれて良かった」「不安もあったが、自分たちの話を聞いて行動してくれたのでうれしい気持ちになった」と、喜びや達成感を感じていました。また、地域の方々に対しては、「優しく接してくれて、自分たちは大切にされていると感じうれしかった」など、地域の温かさに対する思いも聞くことができました。

学校支援地域本部の方に、今回の活動に対するお話を伺いました。

スーパーバイザーの長谷部さんは、「地域の方が学校活動に参加することで、中学生や小学生が一生懸命に取り組んでいる姿に好感を持ってくれる。また、学校の活動を地域に知ってもらう良い機会にもなっている」と語ります。

スーパーバイザーの佐藤さんは、「今の中学生たちも、小学生の頃は当時の中学生に同じように協力してもらっていた。そんな先輩たちの姿を見ていたからこそ、『今度は自分たちが』という思いを持ち、ボランティアに参加している。小学生が中学生に憧れを持つ良い機会になっている」と語ります。



長谷部さん（左）と佐藤さん（右）

住吉台中学校の石山教頭は、「地域の方々が子どもや学校に関心を持ち、積極的に関わることで、みんなで子どもたちを見守っていく環境ができる。また、子どもたちがボランティア活動などを通して地域に関わることで、地域の中で自分にできることを考え、行動する力を育み、子どもたち自身が、地域の一員であることの再確認をすることができている」と語ります。

子どもたちが、地域の方々と多くの交流を経て、これからは地域の大きな力になっていく様子がうかがえました。住吉台中学校と地域の活動はこれからも続いていきます。

※住吉台中学校のその他の特色ある活動の様子



住吉台小学校サマースクールで勉強を教える中学生



地域の方々と夏祭り後の清掃に取り組む中学生

関連リンク:住吉台中学校の
HPはこちらから

